

九州発の「工場の心臓・ポンプ」で世界市場に進出 (本多機工 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:福岡県嘉麻市山野2055
- 代表者:代表取締役社長 龍造寺 健介
- 資本金:9,000万円
- 売上高:25億円
- 従業員数:150名
- URL:<http://www.hondakiko.co.jp/>

①事業概要

<産業用ポンプ等製造・販売>

本多機工株式会社は、工場などで使用する多様な液体に対応できる特殊ポンプを開発・製造するメーカーである。それぞれの工場では粘度の高い液体や塵を多く含んだ液体をポンプを用いて運ぶ必要があり、顧客の多様な要望に応じたオーダーメイドでポンプを製造している。

同社の主力製品は、粘度の高いラテックスを移送できるラテックスポンプで、世界シェアは40%を占める。

特殊ポンプ分野のほか、現在は、水質浄化等に利用可能な、細かい気泡を液体の中に大量に発生させる「大容量マイクロナノバブル発生装置」を開発する等、環境分野の研究開発を展開中。

②海外展開概要

<欧米・アジアへの販路開拓>

同社は、昭和55年頃から海外企業への技術供与や技術提携等を行うことで海外展開を開始。

現在は、全世界に20社を超えるパートナー企業と技術提携、販売業務提携を行っている。欧米のポンプメーカーとの技術提携により、ポンプトータルソリューションを顧客に提供したり、成長著しいアジアの各国に正規代理店を設け、積極的な販売活動を行っており、これまで世界50ヶ国以上に様々なポンプを納入している。

また、海外展開を推進するため、ドイツ、タイ、中国、スリランカ、韓国等の諸外国の留学生などの海外高度人材の採用も積極的に行っている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社は、大手ポンプメーカーが製作するポンプでは対応できない、粘度の高い液体や危険な液等の移送などで活躍する特殊ポンプをオーダーメイドで製造することでニッチ市場の獲得に成功している。

海外の企業に模倣されることばかりを心配するのではなく、戦略的に海外企業との技術提携、業務提携を行うことで海外展開を実現している。

同社の海外展開では、高度外国人材が活躍しており、留学生等高度海外人材を積極的に採用し、アジアとのビジネスを推進している。

④今後の事業展開について

経済成長が著しいASEAN、中国、インド等への展開は、正規代理店を設けることで積極展開しており、さらなる将来として中近東・中南米を次ターゲットとして展開検討中。



ラテックスポンプ:アジア各国のあらゆるプロジェクトにて納入



大容量マイクロナノバブル発生装置:大学等と共同研究を行って開発したもので、本装置はポンプ吸込口から入れた気体を特殊ポンプで予備攪拌後、バブル発生器で50 μ m以下の超微細気泡を生成するもの。微細気泡は、化学薬品を使わずに水中の細かな不純物を取り除く。オゾンによる殺菌、脱色、脱臭にも最高の効果を発揮する。

(平成24年10月現在)

データ出所:九州経済産業局